

会議の名称	令和4年度浅口市行財政改革推進懇談会（第1回）		
開催日時	令和4年8月31日（水）10時30分から12時05分		
開催場所	浅口市中央公民館 2階視聴覚室		
出席者及び欠席者	<p>【委員出席者】 中村良平会長・伊澤誠副会長・杉野美代子・山内悦子・奥慎二・ 澁谷達磨・筒井由紀子・松本良枝・大岸貴美子・石井節子・ 金光道晴・額田教正</p> <p>【委員欠席者】 なし</p> <p>【事務局】 石田康雄企画財政部長・園部智秘書政策課長・秘書政策課3人</p>		
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴者数	0
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 会長及び副会長の選任 4 会長あいさつ 5 議事 （1）第3次浅口市行政改革プラン実績一覧について （2）第4次浅口市行政改革大綱【素案】について （3）その他 6 閉会		
問い合わせ先	企画財政部秘書政策課 電話番号 0865-44-9013 〒719-0295 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050 e-mail:hisyoseisaku@city.asakuchi.okayama.jp		

発言者	内容
	【開会】10:30
事務局	開会、委員へ委嘱状を交付。新型コロナウイルス感染症予防対策として、予め配布させていただく。
事務局	続いて、浅口市長 栗山康彦が挨拶をさせていただく。
栗山市長	<p>参集の礼。</p> <p>合併後間もなくから、行財政改革の取組を進めており、財政調整基金の積み立てなど、一定の成果を上げてきている。</p> <p>しかしながら、市町村合併に伴う普通交付税の特例措置が見直され、歳入の確保と歳出の削減が求められる一方で、施設の老朽化や扶助費の増大、新型コロナウイルス感染症への対策など、財政調整基金も今後減っていく試算もあり、非常に厳しい財政運営が見込まれる。</p> <p>市の将来、子やその孫たちの未来を見据え、持続可能な浅口市となるよう、複雑多様化する行政課題に対応していくため、さらなる行財政改革の推進を進めていく必要があると考える。</p> <p>皆様には、市の行財政改革への取組に対し、外部の視点から様々なご意見をいただき、今後の改革の推進に活かしてまいりたいと考えている。</p>
事務局	<p>会長・副会長の選任について</p> <p>※会員からの互選により、 会長には中村良平氏、副会長には伊澤誠氏が推薦され、 全会一致で承認された。</p>
事務局	<p>続いて、栗山市長より中村会長へ諮問を行う。 (市長より会長へ諮問書を手渡す)</p>
事務局	<p>(市長、他公務の為、退席)</p> <p>次に、中村会長からあいさつをお願いします。</p>
中村会長	先ほど市長が言われたように、まち自体が持続可能になっていく

	<p>ためには1つは企業誘致も含めた、産業振興が非常に大事であるとともに、もう1つはやはり行財政改革。費用対効果でいうところの、効果が産業振興であって、費用を削減する方が行財政改革という両輪となる。アクセルとブレーキのような感じでもあるが、バランスよく進めていかないといけない。</p> <p>引き続き、皆さんにも色んなお立場から貴重なご意見をお伺いしたいと思う。</p> <p>お手元にあるように、人口はそんなに多くない浅口市でも多くの補助金がある。</p> <p>我々市民の生活、あるいは産業振興に直接・間接に役に立っており、商品券も一種の交付金のようなものですが、本当に重要なのか、あるいは役に立っているのかということ、皆さんの経験や立場から、忌憚のないご意見を教えていただきたい。こういうものは、本当にスクラップ&ビルドが重要で、効果のないものは止めて、より効果があるものを考え出すことが必要になる。</p> <p>この懇談会では、皆さんのご意見を色々お伺いしたい。</p>
事務局	<p>これからの進行は、中村会長にお願いする。</p>
中村会長	<p>今日の終了予定時間は正午になっている。皆さんのご協力をお願いする。</p> <p>議事の1番目、第3次浅口市行政改革プラン実績一覧について事務局の方から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>(1)第3次浅口市行政改革プラン実績一覧について説明</p>
中村会長	<p>委員から、お気づきの点、意見を求める。</p>
奥委員	<p>最後の方に言われたが、事業計画の中で、以前の会議でも目標の設定がなかなか分かりにくい、評価が◎になっているが、これは何の◎かというのが分かりにくい。</p> <p>本当に成果があったのかが分かりにくいと思うので。第4次のプランでは、具体的な目標設定を設け、それに向かって、どういう施策をやっていくか明確にしていきたい。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた点については、これまでの行財政改革推進懇談会でも同様にご意見をいただいている。懇談会は今年度3回を予定しているが、行政改革大綱とプランについてどのような取り組みをし</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>ていくか、ご審議を承りたい。</p> <p>策定にあたっては、委員と会長からも指摘いただいたとおり、客観的に進捗状況が把握できるよう、数値目標など客観的な判断ができる指標をプランに盛り込んでまいりたく、各課に対しても指示してまいりたい。</p> <p>説明の中で12番公有財産の処分と有効活用、27番未利用財産の処分等の検討の項目が財政課となっている。</p> <p>私は寄島町在住で、寄島のことは概ねわかっているが、この◎というのが少し合点いかない。</p> <p>寄島町には旧中央公民館があるが周りは草が生い茂り、建物自体もかなり危険である。その処分については、プランの事業に含まれているのか。◎ということは、対象になってないのかと。未処分財産という意味では現実に存在している。</p> <p>学校給食センターは現在、鴨方へ立派なものができる生徒も大変喜んでいいる。寄島町にも旧学校給食センターがあり、かなり立派な建物だった。</p> <p>給食センターは建物がそのまま残り、物置になっているのか、周りも相当荒れている。これも財産に入るのではないかと思うが、実際に第3次計画の中でどういうものを未処分財産として挙げているのか、説明を求める。</p>
<p>大岸委員</p>	<p>未処分の施設について思い当たるところがある。鴨方東小学校区の主任児童委員を務めているが、鴨方は自校給食だったが、その給食室の建物がそのまま物置として使われていて、中に鍋や冷蔵庫などの機材も置いたままの状態である。早く売り出せば、価値があるのではないかと学校の先生方と話をしていた。</p> <p>鴨方中学校では、この夏はB&Gへ行ってプールをした。学校にもプール施設はあるが、古くてもう使えないのではないか。いつまで置いておくのかといった話も、学校運営協議会の中で出ている。市内には他にも多くありそうな気がするので検討してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>未利用財産の処分等の検討について。</p> <p>委員から指摘のとおり、◎となっているが、未利用財産が残っていることについては当然、我々も問題であると思っている。◎という評価については、先ほど意見があったように、客観的に見た場合、本当に◎かということについて、疑問がある。</p> <p>澁谷委員から指摘のあった旧寄島公民館も未利用財産の対象と</p>

	<p>している。何度か売却手続き等を進めたが売却には至っていない。</p> <p>建物を倒して売るのが、そのままかといった検討もしているが、売却には至っていない中で、◎が妥当であるかということは疑問がある。</p> <p>この項目については、引き続き取り組んでいくべき課題であり、客観的な評価設定を行い、第4次プランにも盛り込みたい。</p> <p>大岸委員から指摘のあった、学校施設内の備品売却について。担当課では不動産を財産の基本と考えているが、動産の売却、未使用施設のその後の処理や管理体制にかかる費用対効果についても考慮して財政改革に取り込んでいかなければならない。そういった視点も、第4次プランに盛り込んでいきたい。</p>
<p>中村会長</p>	<p>実績一覧の評価欄に◎とか○とか△が記載されており、事業実施に検証、活用、充実、整備、推進とか比較的數字で表しやすい事業もあるが、未利用財産のところは、処分の検討となっている。検討というのは検討すれば全部◎になる評価には疑問がある。今の状況ではみんなが集り、考えたら、◎の評価となる。</p> <p>具体的な數字で表せるような文言に変え、目標を設定することが望ましい。</p>
<p>山内委員</p>	<p>奥委員からもあった評価について、目標設定が各課で統一できていないと感じた。</p> <p>検討、一部実施の評価は、総合評価でもって◎、○、△としていると思われるが、90パーセント達成できたら◎とか、評価の統一性、可視化をお願いする。</p> <p>未利用施設については、前日も申したが、残念ながら多くの財産が残っているように思うし、その場所を公表し、皆さんに広く広報していかないと処分につながらないのではないかと。</p> <p>学校給食センターやプール、金光竹小学校の下にあるボランティア研修室も長期間あのままの状態。色んなところから、どうなるのか。危ないところもあるため、もう1度一考願いたい。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大によって3年近く、市民の活動も延期や中止となっている。ここ2年、市民運動会も中止になっているが、寄島では地域と小中学校が一緒になって実施するような状況。急激な高齢化による過疎化が一気に押し寄せてきた感じがする。</p> <p>市民運動会の見直しや公共施設のあり方に関して、あまり市民に負担をかけないよう、使用料も継続するとなっているが、浅口市内にも健康増進のため、天満屋ハッピータウンにカーブスができ、国道沿</p>

	<p>いにも運動スタジオができた。利用料について民間の利用料と格差がある。具体的には、健康福祉センター2階にあるジムには通年ずっと来ている人がいるが、新たに利用しようと思っても、利用人数の制限等で難しく、民間施設に行っているという声も聞く。平等性について、利用金額を上げれば平等になるわけではないが、100円、200円でも値上げをしてもよいのではないか。第3次大綱でもスピーディな行政改革が掲載されていたが、とても大事だと思う。</p> <p>もう1つ、寄島のB&G体育館に、以前は自動販売機があったが、なぜ撤去されたかわからない。公共施設では熱中症対策として、自動販売機は必要ではないか。公共施設の在り方をもう少し見つめ直して考える必要があるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>使用料について、当初から引き上げてないところもあり、第3次大綱の期間内に民間のスポーツジムなども開店した状況。</p> <p>昨今の原油高、物価高騰により、電気代も上がってきているが、使用料、手数料について、市民サービスとの兼ね合いも含めながら検討してきたが、なかなか引き上げに至っていない。</p> <p>行財政改革の根幹をなすものであり、引き続き、第4次プランにも盛り込み、原価計算による適切な使用料や民間に任せることは民間に任せてもいいのではないかという考えもできるため、使用料や手数料の見直しについては不断に進めていく。</p> <p>自動販売機について、熱中症対策ということで、市長からも、公共施設は冷房を効かせているので、自由に過ごしていただきたく、今期、クールシェアの考え方で、公共施設を解放する取り組みを始めた。</p> <p>自販機設置の調達は入札で実施しているが、入札不調が続いている場所もある。事業者のニーズなど、今後検討してまいりたい。</p>
金光委員	<p>第3次の実績一覧を拝見し、学校教育に関わっている立場で申し上げたいが、教育に関わる場所はほとんどないと思っている。子育てガイドブックの改訂や学校のプール、給食施設など、建物・施設のことについては出てきたが、第4次については、将来について考える課題が多い。</p> <p>国、文科省やスポーツ庁では地域の中学校の部活動が成り立たなくなっており、2つの理由があると言われている。1つは、教職員の働き方改革で、土曜や日曜日の部活動に指導することが、無理な状況を起こしていること。もう1つは、子供がいなくなることで、その部が存続できないこと。</p>

	<p>浅口市内でもすでに起こっているが、人数が多く必要な競技では合同チームを作って活動している。子どもが少なくなっている中で、地域に移行・移管する取り組みが来年度から3年間で進めていくことを国が打ち出している。当然、私どももその流れに乗ることになるかと思うが、ハード面とソフト面も教育という観点から、新しい行政改革というのに視点を入れていくことが大切だと思う。</p> <p>人口減少、少子高齢化は浅口市だけではなく、多くの自治体の問題。税金を納める人も少ないし、収入が少なくなると当然色んなサービス低下は免れない。</p> <p>取捨選択して有効活用、措置を取る必要があるが、その中でも教育的な観点も審議いただきたい。</p>
事務局	<p>第3次プランは、財政面での取り組みに偏っているところもあり、財政や政策に関する担当課の項目が多くなっている。教育委員会や産業振興など、事業部局のプランが入っていないというご指摘はもっともであり、第4次プランで検討したい。</p> <p>行財政改革は、全庁的に取り組んでいかなければならないことで、単なる財源の確保だけ、財源を減すだけではなくて、費用対効果の高い使い方、市民ニーズに応えていくことも行政改革にもつながると考えている。</p> <p>少子高齢化も大変な問題だが、様々な問題の解決につながる、市民の満足度を上げるという観点からも、全庁的な計画として大綱・プランを策定していきたい。</p> <p>第4次行政改革大綱がプランを作っていく柱になるので、大綱審議における意見も反映していきたい。</p>
中村会長	<p>次に協議事項2、第4次浅口市行政改革大綱(素案)について事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2)第4次浅口市行政改革大綱(素案)について説明</p>
中村会長	<p>大綱、要するにそのコンセプトが書かれており、行革プランの中で具体的に数値目標を設定することになる。プランは次回の懇談会で事務局から提案されることとなるが、今日は大綱の素案の考え方についての意見と行革プランの具体的な考えがあれば、お聞かせ願いたい。</p>

<p>奥委員</p>	<p>重点事項で2点思うところがあるので、お話ししたい。 歳入の確保、市税の収納率の向上の項目について。 浅口市は工業団地の新設、増設と定住に向けた施策を行っているかと思うが、浅口市は立地条件が非常にいいところだと思う。山陽インターも近くにあり、バイパスも近くにあり、倉敷も非常に近くなった。 岡山も今道路の高架やバイパスを通す計画もあり、福山へもバイパスが伸びている。いつ完成するかというのはあるが、私も福山の会社に通っているが、鴨方に住んでもらい、倉敷や岡山、福山に通勤してもらおうような住宅、市民を呼び込むというような施策も重要じゃないかと思う。 工業誘致もいいと思うが、市民を誘致する、呼び込むというような施策を積極的に取り入れていただきたい。 もう1点が行政サービスの見直しと充実について。 デジタル技術の導入を積極的に推進するということになっているが、具体的な記載はないが、マイナンバーカードを普及させること。給付について。 市長が5000円の応援券を配るといっても言われたが、直接口座に配れれば事務経費を抑えることができるのではないか。券を配布する場合、印刷費とか色々な経費が必要かと思うが。 マイナンバーカードの普及率はわからないが、今2万円のポイントがもらえることもあり、積極的にアピールして、マイナンバーカードの取得とマイナンバーカードによるデジタル化の推進を図っていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>移住定住の促進について。 どの自治体も取り組んでおり、当市としても地方創生、まち・ひと・しごと創生総合戦略、総合計画にも目標を掲げている。 持続可能なまちづくりのためには、人口の維持は必要不可欠であり、しっかりと取り組みを進めていきたい。 デジタル行政の推進について。 具体的な項目は、今後作成する行革プランに盛り込んでいくが、当市でも4月にデジタル戦略課を立ち上げ、デジタル行政の推進を市長の柱として取り組んでいる。 デジタル行政を進めるにあたり、マイナンバーカードの普及は喫緊の課題。現在、市民課で出張申請、各地域に出向いて、市民の方々にマイナンバーカードを取得していただく取り組みを始めており、更なる取得促進に取り組んでまいりたい。</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>そういった観点からも、デジタル行政の推進についてはプランに盛り込んでまいりたい。</p> <p>民間から見ると職員の行政改革は非常に遅れているというのが行政改革のスタートだったと思う。</p> <p>官から民へ、地方で道路掃除も地元民で行い、行政はなるべくタッチしないとしているが結局は財政、収入がないことや人口減少が問題。寄島町も昭和30年代は人口が1万人いたが、今は5000人を割り、半分以下になってきた。そういう中で収入がないから、行政改革という名前に振り回されていると思っている。</p> <p>マイナンバーカードについて、老人はスマートフォンをうまく利用できてない。小学校、中学校のPTAでは既にLINEなどで連絡網もできていると聞いているが、我々老人の中では未だ生きがいのようにガラケーに執着している人も結構いる。</p> <p>ガラケーがなくなったらもう持たないとか、携帯電話を絶対持たないとか、これが一部の老人には根強くある。</p> <p>それに対してどのようにデジタル化していくのか、いわゆるマイナンバーカードのポイント。2万円くれるので、老人の中でもすぐ話題になった。</p> <p>2万円くれるらしいし、どうにかしたいと。私もやってみたが、2時間ぐらい試してどうにかできたが、とりあえず何千円かのポイントもらって、わかってきたが、そこに到達する前の段階で老人の方は非常に難しい。</p> <p>第4次の行革では、市長も言われたように、デジタル化することが非常に大きいポイントになると思うので、そこに対しての支援に取り組んでもらいたい。</p> <p>老人クラブでも、研修会を開こうかといった話を聞いている。これも、市の職員が説明されるのか、民間の電話会社の人が説明に来るのかわからないが、いずれにしても、私も操作を教えようかと思っても、端末・機種が違えば、全然わからない。それを考えると、相当な準備が必要だ。</p> <p>私は早崎地区に住んでいるが、今までは地域で書類を回す時でも、自分で作成して回覧していた。でも、これは地域で、パソコンを買うべきと思い、この度、地域でパソコンとプリンターを購入した。</p> <p>今は地域内でも何人かが使えるだけだが、こういったことがデジタル化のきっかけだと考えている。行政、市に要望したかったのは、せめて、インターネットに接続する経費を持っていただけないか、先を見越して官から民にするため行政としての指針をぜひこの第4次</p>
-------------	--

	<p>で取り組んでいただきたい。</p> <p>補助金の一覧表を見ると相当種類があるが、結局はそういう部分への取り組みはほとんどないと思う。地域がデジタル化に取り組むための支援についても考えてほしいと思う。</p> <p>デジタル化を進める際、老人の半分ぐらいは落ちこぼれてしまうと思うが、落ちこぼれてしまった時には、地域の人が面倒を見ていく時代であるとも思う。</p> <p>本庁で一括するような話も聞いていたが、金光も寄島も距離的な問題はあるため、金光は金光、寄島は寄島と、老人は中央になかなか馴染めないということも、考えの中に持っていていただきたい。</p> <p>澁谷委員から地域の草刈りが大変という話が出たので関連した意見。鴨方町本庄地区に住んでいるが、今までは各自自治体が地区を守ってきたが、地域や人のつながりがだんだん壊れてきていると感じていて、地域に入らない人も増加している。</p> <p>鴨方東小学校区の中でも、新しい1戸建て住宅が多く建っているところは、町内会に入っていない。自主的に入っていないと思っていたが、町内会がお金を保有しており、若い者は入れないと言っていた。町内会の財産を取られるように思っている。</p> <p>後々のことを考えると、若い人と一緒に草刈りをしていないと、高齢化が進み、限界集落になってからでは遅いと感じている。本庄地域も他人事ではないと感じている。</p> <p>だから、「人が…」と出てくが、行政と1個人、1家族とがやり取りをしていると、市は回っていかないと思うので、地域づくりをもう1度見直して、移住してきた人が地区に入ってもらえるよう、しっかり進めていただきたい。</p> <p>また、我が地区にも空き家がたくさんあり、庭の草が生い茂っている。放置したら持ち主にメリットはあるのか。持ち主が困るような、空き家を早く手放せるよう、地域や市が手を入れることができないか。市でできるなら、固定資産税を高くするとか。空き家対策として、空き家を有効に利用するだけでなく、空き家を作らせないようにできないか。今後も空き家は増えると思う。財政との関係はないかもしれないが、その2つについて今地域では困っており、是非取り組んでほしい。</p>
<p>大岸委員</p>	<p>7 ページ、歳入の確保、ふるさと納税について。</p> <p>第3次プランでもふるさと納税への取り組みに努力し、多額の寄附が入っている。テレビでもふるさと納税については周知されている</p>

が、今後も浅口市に納税してもらえよう、今後も PR をお願いしたい。

企業誘致に関して、奥委員が言われたように、浅口市はベッドタウンのような位置付けだが、誘致企業が従業員を採用する際には半数以上が浅口市に定住してくれるような、また、既に住んでいる人が誘致企業の正職員になれるような、誘致の仕方をしていただきたい。

やはり、浅口市外から勤めに来る場合、里庄へ住む、倉敷の方の玉島の方のアパートからここへ来るのではなくて、企業誘致ではそういったことも加味していただきたい。

もう 1 つは、前日も申し上げたが、市民サービスをすることが、職員の第1目標。市民のために市民に寄り添い、安全安心のまちづくりをするために、市民とともにある職員であっていただきたい。新入職員の接遇マナーも複数回行い、採用後 10 年にもう 1 回行うなど接遇マナーの向上は重要と考える。電話対応でも覇気がなく感じる部署もある。

計画に書く限り、サービスの向上という部分では、接遇マナーはやるべきだと思う。

今から 7・8 年前、ゴーヤをビッグハットで配布していた。要するに、これから暑くなるから、熱遮断のためゴーヤを差し上げると。皆さん、家でゴーヤを育ててくださいということでした。ゴーヤを私も育て、興味を持ちました。大して熱の遮断にはならないが、あるところでは3階まで全部ゴーヤが植えられており、職員の方とか、民間の方にも手伝ってもらいながら取り組まれていた。少しでも光熱費の削減にはなるのかな、というような話も聞いたが、もっと素晴らしかったのは受付に獲れたゴーヤが山のようにカゴに入れてあり、1人1本ずつお持ち帰りくださいと、健康増進に努めてくださいという文言が書いてありました。

そういった循環、やり方うまいなと思いました

それから、もう 1 点。デジタル推進ですが、銀行のATMは操作が難しくても、年配の方も行かれています。デジタルで紙媒体を好む年齢にはデジタルは難しいと思うが、市役所の受付もタッチパネル方式で職員を配置し、操作が分からなければ職員に声掛けをするなど、銀行と同じように、担当者を設けたら、職員数の削減になると思う。すぐには難しいと思うが、そこを並行してやるべきではないかなと思う。

それと、もう 1 点。

鴨方西幼稚園と鴨方東幼稚園はもう10人、11人しか幼児がいない。

園を設置すると、どうしても職員が必要。断腸の思い、身を切る思

	<p>いが必要ではないか。改革する時は、本当に誰かに憎まれるかもしれないが、この先に良かったと子供たちが思うよう。金光委員も言われたが、子供たちは大勢の中で学ぶことで得るものがたくさんあり、切磋琢磨することとなる。</p> <p>園の統合は、園バスが用意できれば保護者の人に負担がないと考えるので、そういった取り組みも進めてほしい。</p> <p>今日は第4次大綱、プランの策定に向けた会なので、たくさん申し上げたが、よろしくお願ひしたい。</p>
筒井委員	<p>6 ページ、改革の柱の真ん中、最後に市民満足度の向上を図となっているが、満足度の把握方法についても計画を立てていただきたい。</p> <p>市民感覚で言えば、マイナンバーカードが保険証にもなるとのことで私も作った。大きな病院だったらいいのだろうが、我々が使う市内の歯医者などの場合、読み取りの機械がないと言われる。国としては進めているのだろうが、市でどういったところが良いか悪いかという部分の把握ができてないのではないか。もう1年以上前のことだが、なぜ、まだ保険証として使えないのかと思う。そういった不満を吸い上げるような方策に取り組んでいただきたい。</p> <p>もう1つ、小さな不満だが、蛍光灯は資源ごみとして回収されている。以前は燃えないゴミだったが、今はリサイクルセンターに持って行っているが、ゴミの分別表では、いまだに燃えないゴミとされている。</p> <p>運用が変更されて何年も経っているが、そういった情報提供も細かに行われていない。市民の目線で意見を吸い上げるような方策を行っていただきたい。</p>
中村会長	<p>多くの重要なご意見いただいた。少し会議の時間が超過している。最後に、今までの意見について、事務局から願ひする。</p>
事務局	<p>まず、官から民へ、地域でできることは地域で、について。</p> <p>重点項目7市民参画にあたる。プランの策定に意見を反映させてまいりたい。</p> <p>デジタル化、高齢者への対応について。</p> <p>100%全てをデジタル化し、また、市民、地域にもデジタル化を普及していくことは簡単ではないと考える。普及にあたって市長からは誰1人取り残されることがないよう指示があった。</p> <p>しばらくはデジタルとアナログの併用になると思うが、まずは職員間、市役所の機構改革と行政サービスの提供の二方向で取り組ん</p>

<p>中村会長</p>	<p>でいけるものとする。</p> <p>教育委員会では高齢者向けのスマホ教室を昨年度から開始しており、取り組みの拡充も考えられる。</p> <p>マイナンバーカードの魅力、利便性の向上、保険証としての利活用などは国の政策となるが、導入の促進、住民票や諸証明の入手については市が進めていけるものとする。</p> <p>家にいながら、住民票が取得できるようなことを考えていく必要がある、市政でも、そういった市民サービスの向上につなげていくデジタル化を進めていかなければならないと考えている。</p> <p>空き家対策について。</p> <p>町内会の促進、移住定住もあるが、積極的に人口減少に対応していくことも、行政サービスの1つの柱であり、しっかりと取り組みたい。</p> <p>歳入として、企業版ふるさと納税やふるさと納税のPRについても、引き続き取り組んでまいりたい。</p> <p>また、企業誘致としては、最近も新たな誘致案件が進んでいるが、市民を正規職員として雇用することについて、第3次プランにも掲げている。4社の誘致があったなかで、110人の新規雇用があり半数以上の67人が市内在住者であった。誘致企業には正規職員として従業員の採用に配慮いただけるよう努めてまいりたい。</p> <p>ゴーヤの配布、電気代もSDGsの考え方に繋がっている。昨年作成した第2次総合計画後期基本計画でもSDGsの考えを踏襲しており、市政を進めてまいりたい。環境に配慮した工夫、電気代の削減についても行政改革につながっていくものと考えており、取り組みを進めたい。</p> <p>蛍光灯やごみについて、市民感覚の意見などは大変貴重であり、関係課に周知する。</p> <p>行財政改革推進懇談会のみならず、色々な会議で浅口市の情報発信の弱さについて指摘いただいている。その強化や、市民皆様の声を聞いていく広聴についても、改革の根幹であり、しっかりとプランに反映させてまいりたい。</p> <p>幼稚園の統合について、効率的な行政運営の部分となり、適正な施設運営についても、プランとして取り組んでいけるよう考えたい。</p> <p>いただいた意見については全庁的に周知し、行政改革プランの策定に取り組んでまいりたい。</p> <p>以上で議事を終了し、事務局にお返しする。</p>
-------------	--

事務局	閉会にあたり、伊澤副会長より、ご挨拶いただく。
伊澤副委員長	<p>それぞれの立場の委員からいただいた、意見は有益なで、感謝申し上げます。</p> <p>市におかれては、本日の意見を基に、素案の修正、行政改革プランの策定を進めていただきたい。</p> <p>浅口市は歴史的にもいい町だが、南に瀬戸内海、北に遙照山と素晴らしい地形にも恵まれている。岡山県で1番小さな市ではあるが、なぜ人口が減少するのか、なぜ少子高齢化が起きるのか。</p> <p>皆様の知恵をいただき、行革プランを通じて市の発展につなげていきたい。本日お集まりの皆様にも、それぞれの立場での協力をお願いし、閉会の挨拶とする。</p>